

教育福祉常任委員会次第

日時；令和2年2月13日（木）

午前10時30分～

場所；第1委員会室

1. 開 会

2. 議 題

閉会中の継続調査（所管事務調査）について

件名「子どもから高齢者まで移動が困難な町民の生活を支える仕組み」

3. 閉 会

教育福祉常任委員会報告（案）

継続調査事項「子どもから高齢者まで移動が困難な町民の生活を支える仕組み」

12月定例会以降の調査研究会の開催状況

・12月20日、1月8日、1月28日、2月10日 の4回開催。

2月13日に正式委員会を開催。

- ① 民生委員児童委員協議会の役員会、第一層協議体（お互い様協議会）、第2層協議体を傍聴。移動に関する不便さ、難しさ、不安や心配ごと、要求等を改めて認識。
- ② 法令上、継続調査事項が所管する部署の所掌事務に限られる点について協議。
議会側で総務建設経済常任委員会と教育福祉常任委員会で共同し、調査・提言を行うこと、特別委員会を立ち上げる等のプロセスの点、町側に部署横断的な取り組みを求める点、福祉的な視点を進める点などが上がっている。
- ③ 提言の方向について協議。

実際に現場の状況を見て、声を聞くと、高齢者の移動を支える方向に焦点がしばられてきた。しかし、高齢者が移動しやすいということは、子どもたちの移動のしやすさにもつながる。高齢者が外出をするようになれば、子どもたちの安全安心にもつながっていく。そのため本会期閉会後の継続調査として「子どもから高齢者まで」ということではなく、「移動が困難な町民の生活を支える仕組み」を提案する。

以上